

## 目次

まえがき	尾中文哉	i
目次		vii
第1部 音楽と空間		
第1章 カフェバーにみる音楽と空間		2
第2章 ソウル・バーという空間		
——ソウル・バーKay Gee'sを通して——		18
第3章 色彩と音楽 真鍋朋子 ——空間と音楽の共生——		24
第4章 サッカー観戦における太鼓のリズムについて		30
第2部 音楽と関係性		
第5章 ストリートミュージシャンとファンの関係性		44
第6章 たかがカラオケなんて言わないで!		
——アイデンティティとしてのカラオケ——		56
第7章 可能性を秘めるカラオケ ——自己表現の観点から——		70
第8章 「聞こえるもの」と「見えるもの」		
——「ヤマハ音楽院」と「日本映画学校映像科」—— 尾中文哉		81
第3部 音楽と流行		
第9章 CDとしての音楽		96
第10章 ファッションと音楽の関係性について		107
第11章 2005年、なぜレゲエは流行したのか		117
第12章 流行の音楽		131
第4部 音楽と教育		
第13章 音楽の生活化とヤマハ音楽教室		140
第14章 ヤマハ音楽院にみる音楽と教育	元森絵里子	151
第5部 音楽と政治		
第15章 文化行政と市民参加		
——検証・川崎シンフォニーホール——		162
第16章 「ミューザ川崎シンフォニーホール」と「サントリーホール」		

——「音響の文化政治学」？——

尾中文哉 170

付録

付録1 フィールドノート 186

付録2 ヤマハ音楽院インタビュー記録 254

付録3 アンケート調査単純集計表 290